

3. 電気の使用面での取組み

お客さまの省エネにつながる取組みを進めるとともに、当社自らや社員の家庭においても一層の省エネ活動に取り組んでいます。

お客さまとともに進める省エネ活動

～ 一般お客さまに対する取組み ～

■ 省エネのPR

省エネ・省CO₂活動に取り組んでいた
 だく際に役立つ情報を、わかりやすく紹介したパンフレット（よくわかる電気の省エネ）をお客さまに配布するとともに、ホームページなどでも省エネのPRを行っています。また、各営業所のホームアドバイザーが、上手な電気の使い方などを紹介する講座を開いています。



パンフレット

■ ご家庭における省エネ方法の例

次世代層向けの環境教育資料
 「みらいくんと知ろう! 地球温暖化」
 にも詳しく掲載しています。
 「みらいくんと知ろう! 地球温暖化」は[こちら](#)。



パンフレット

<省エネによるCO₂削減効果を「杉の木」が1年間の成長で吸収するCO₂量と比較>

エアコン

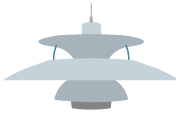


- ・冷房の温度を1℃上げると
 ……1年間で18kg^{※1}
- ・暖房の温度を1℃下げると
 ……1年間で32kg^{※2}

約6本分の削減効果



照明器具

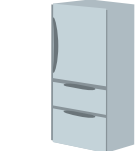


- ・白熱電球から電球型蛍光灯へ交換すると
 ……1年間で50kg^{※3}
- ・1日1時間点灯時間を減らすと
 ……1年間で3kg^{※4}

約6本分の削減効果



冷蔵庫



- ・物を詰め込まないで半分程度にすると
 ……1年間で26kg
- ・設定温度を「強」から「中」にすると
 ……1年間で37kg^{※5}

約7本分の削減効果



WEB 詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P2参照) > よくわかる電気の省エネ

～ 法人お客さまに対する取組み ～

設備の運用改善や、ヒートポンプをはじめとする高効率機器への更新等による省エネ提案など、エネルギーの効率的利用に資する活動を展開しています。



当社ホームページにおける省エネ関連情報

WEB 詳細は九州電力ホームページ
 関連・詳細情報 (P2参照) > 省エネ関連情報・節電対策のご紹介
 > 技術開発における取組み

>> 私の環境アクション

お客さまにとって 身近で頼りになる 存在を目指します



福岡営業センター 福岡営業所
 九電ホームアドバイザー
 はらだ ちほ かやた かおる
原田 千穂 (写真左) **萱田 香** (写真右)

私たち九電ホームアドバイザーは、主婦層のお客さまを対象とする講座を開催しており、新しい電気料金のPRをはじめ、地球温暖化などの環境問題に関する講話や、料理教室等を通じた省エネにつながる電気の上手な使い方をお伝えしています。

講座では、「お客さまと共に楽しく！」をモットーに、クイズを織り込んだり、指編みによる「エコたわし」や保冷剤を原料にした「消臭剤」等の「エコグッズ」を製作するなど、お客さまとの距離を縮め、印象に残るように工夫しています。

講座に参加されたお客さまからは、「省エネの取組みを早速やってみる」、「とても楽しかった」、「またお願いね」などの



講座の様子

お声をいただき、やりがいと達成感を感じています。今後も、お客さまにとって身近で、頼りになる存在になれるよう、様々な所に足を運び、顔の見える営業活動に取り組んでいきます。

※1：外気温31℃の時、エアコン（2.2kW）の設定温度を27℃から28℃にした場合（運転期間：3.6か月（6月2日～9月21日）、使用時間：9時間/日）。
 ※2：外気温6℃の時、エアコン（2.2kW）の設定温度を21℃から20℃にした場合（運転期間：5.5か月（10月28日～4月14日）、使用時間：9時間/日）。
 ※3：54Wの白熱電球から12Wの電球型蛍光灯に交換した場合。
 ※4：12Wの蛍光灯1灯の点灯時間を1日1時間短縮した場合。
 ※5：周囲の温度が22℃で、設定温度を「強」から「中」にした場合。
 【出典】省エネルギーセンター「家庭の省エネ大辞典」の省エネ試算値をもとに当社データで算出。
 ・2014年度の販売電力量あたりのCO₂排出量（調整後）を使用して試算。
 ・杉の木換算（年間吸収量）「40年生前後のスギの炭素蓄積量・呼吸量の求め方（林野庁HP）」より算出。

用語集をご覧ください

>> 地球温暖化

>> ヒートポンプ

>> ホームアドバイザー

地球環境のためには、エネルギーを利用する側の省エネへの取組みが重要だと思う。

▶ P19 お客さまの省エネにつながる取組み

当社事務所における省エネの推進 ～オフィス電力使用量の削減～

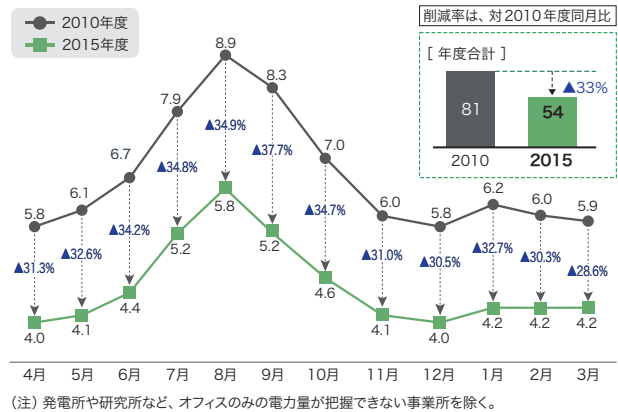
東日本大震災以降の厳しい電力需給等を踏まえ、2011年の夏から継続して、それまでより更に踏み込んだ節電にグループ一体となって取り組んできました。

2015年度のオフィス電力使用量は54百万kWhとなり、2010年度比で約33%削減(▲27百万kWh)しました。

2016年度についても、省エネ・省資源活動の観点から、昨年度と同様の取組みを実施することとしています。

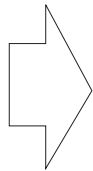
全社オフィス電力使用量削減実績

単位：百万kWh



省エネへの取組状況

項目	従来の夏季省エネにおける主な取組み
空調	・室内温度の目安：28℃ ・クールビズの励行 など
照明・コンセント	・事務室の昼休みの消灯及び会議室、トイレ等の使用時のみの点灯 ・OA機器の効率的利用(退社時の電源切) など
その他	・近隣階(1～3階程度)へのエレベーター利用の自粛 ・給湯器の省エネモードの活用 など



今夏(2016年度)の主な実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・室内温度28℃の徹底 ・クールビズの拡大(襟付きポロシャツ、チノパン等) ・原則就業時間内の運転(昼休みの運転停止(食堂除く)、終業後の原則運転停止)
<ul style="list-style-type: none"> ・事務室、共用スペース(廊下等)の間引き(50%以上) ・残業時の使用箇所のみ点灯 ・パソコンの省エネモードの活用及びディスプレイ照度調整の徹底 ・日中(晴天時)の可能な限りの消灯 ・テレビ、充電器等の不使用时のプラグ抜き
<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの間引き運転(始業前、昼休みを除く) [(例) 本店：8台中3台を間引き] ・原則上下5階は階段利用 ・給湯器、冷水機、温水洗浄便座(ヒーター)、エアタオルの停止 ・原則ノー残業(残業時はエリア限定の点灯)

■ ビル・エネルギー管理システム(BEMS)の活用

事業所におけるエネルギー使用実態(時間帯別・用途別の電力使用量等)を見える化し、エネルギー使用の最適化を図るため、ビル・エネルギー管理システム(BEMS)を14事業所(3支社・11営業所、2016年3月末現在)に導入しており、着実かつ効率的な省エネへの取組みを進めています。

社員の家庭における取組み

お客さまに省エネへのご協力をお願いするにあたっては、当社自らがより一層の省エネに取り組む必要があると強く認識しています。

このため、社員は職場だけではなく、各家庭においても、エアコン温度設定の調節やこまめな消灯などの省エネに取り組んでいます。

■ 環境家計簿の活用

消費したエネルギーから排出されるCO₂の量を見える化する当社の「みらいくんの環境家計簿」を活用し、電気のみならず、ガス、水道、ガソリン等についても使用量削減に努めています。



当社ホームページ「みらいくんの環境家計簿」

「みらいくんの環境家計簿」は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照) > [みらいくんの環境家計簿](#)

■ 夏の節電アクションの展開

夏季の厳しい需給状況を踏まえ、2012年度から社員とその家族が自宅における節電の必要性を再認識し、家族一体となって節電に取り組む「きょうでん家族で取り組む『夏の節電アクション』」を展開しており、2015年度も各家庭での節電に取り組みました。

用語集をご覧ください

>>ビル・エネルギー管理システム(BEMS)

>>環境家計簿